

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
 【部門区分】第 7 部門第 1 区分
 【発行日】平成27年1月8日 (2015.1.8)

【公表番号】特表2012-501052(P2012-501052A)
 【公表日】平成24年1月12日 (2012.1.12)
 【年通号数】公開・登録公報2012-002
 【出願番号】特願2011-524170(P2011-524170)
 【国際特許分類】

H 0 1 M 4/13 (2010.01)
 H 0 1 M 4/139 (2010.01)
 H 0 1 M 10/0587 (2010.01)
 H 0 1 M 10/04 (2006.01)
 H 0 1 M 4/02 (2006.01)
 H 0 1 M 4/04 (2006.01)

【 F I 】

H 0 1 M 4/02 1 0 1
 H 0 1 M 4/02 1 0 8
 H 0 1 M 10/00 1 1 8
 H 0 1 M 10/04 W
 H 0 1 M 4/02 Z
 H 0 1 M 4/04 1 0 1 Z

【誤訳訂正書】
 【提出日】平成26年11月10日 (2014.11.10)

【誤訳訂正 1】
 【訂正対象書類名】明細書
 【訂正対象項目名】0 0 0 3
 【訂正方法】変更
 【訂正の内容】

【 0 0 0 3 】

しかしながら、先行技術のリチウムイオン電池においては、加工された電極板を圧延すると、電極物質領域の端部が若干伸びる上に、加工された部分と集電体自体との伸張率が異なるので、前記電極板の端部に襞が形成され、電極板を巻回している間に、前記電極板が割れて、電池の性能に深刻な影響が及ぶ。

【誤訳訂正 2】
 【訂正対象書類名】明細書
 【訂正対象項目名】0 0 0 4
 【訂正方法】変更
 【訂正の内容】

【 0 0 0 4 】

この観点から、本発明は、先行技術に存在する問題を少なくとも 1 つ解決することを目的とする。そのために、本発明には、圧延している間に襞あるいは皺が生じず、歩留まり率が改善された電池の電極板を提供することが要求される。さらに、このために、電池の電極板を形成する方法と該電極板を備える電池を提供することが要求される。

【誤訳訂正 3】
 【訂正対象書類名】明細書
 【訂正対象項目名】0 0 0 8
 【訂正方法】変更
 【訂正の内容】

【０００８】

本発明の集電体は、圧延している間に割れたり、襷が出来たり皺が寄ったりしない。その結果、電極板の歩留まりは改善され、大規模な工業生産に適用することができる。さらに、本発明に係る電池は、改善された安全性能を有する。